



みるみる

観る 見る



京都府立中丹支援学校

自立活動部だより 第3号

令和2年12月21日発行

コロナウイルス感染拡大に伴い、1学期は行うことが難しかった療育保護者学習会を、今年度初めて11月5日（木）、10日（火）に行いました。コロナウイルス感染対策として、密を避けるための少人数での実施に御協力いただき、ありがとうございました。二日間に分けての開催となりましたが、合計11名の保護者の方に参加していただきました。

今回の「みるみる」では、第1回保護者学習会の内容と様子をお伝えします。

はじめに、自己紹介タイムを取りました。保護者の方の「今、はまっていること」「困っていること」もお話していただきました。

次に療育担当より「困った行動へのアプローチ」について、パワーポイントを使って話をさせていただきました。

その後、家庭での困り感について保護者の方からお聞きしながら、困った行動をどのように捉えるのか考える時間としました。その場で解決できないことも多くありましたが、「〇〇はどうでしょうか。」「そうかあ…そのように考えたらいいですね。」と保護者の方同士で意見交換をしていただくことができました。子どもたちの家庭での様子をたくさんお聞きすることができました。

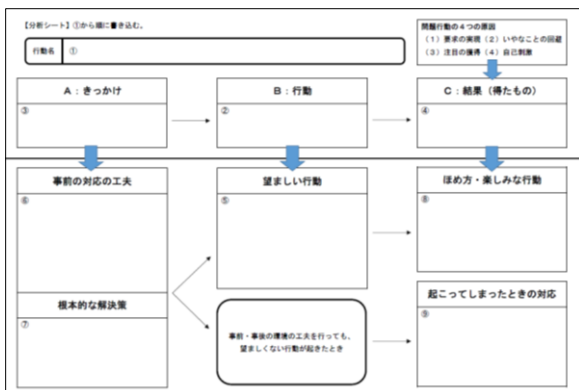


学習会でお話させていただいたことを紹介します。

「困った行動へのアプローチ」～ABC分析で支援を考えましょう～

子どもの困った行動はありませんか？その行動をどのように捉えて、どのように対応したらよいかということ、ABC分析という方法を使って考えてみます。

ABC分析とは…



「応用行動分析」の1分野で、行動を、右の図のように情報を整理しながら分析していく方法です。何が行動（B）のきっかけ（A）となり、その行動の結果（C）としてその人が何を得ているのかを整理していきます。行動だけが突然、起こるわけではありません。行動には必ずきっかけがあるのです。そのきっかけに注目し、子どもの行動を観察してみることが大切です。すると、子どもの行動には理由があることが分かってきます。そして、適切な行動につながるヒントが隠されています。

裏面にて、ABC分析をしてみました。参考にみていただけたらと思います。